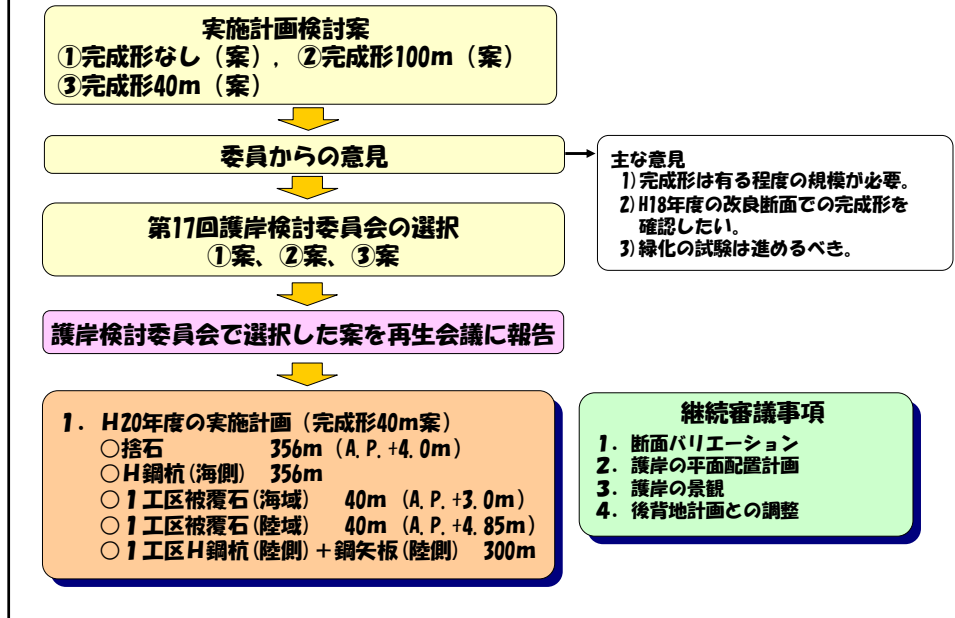


(3) H20年度の整備方針の検討の流れ

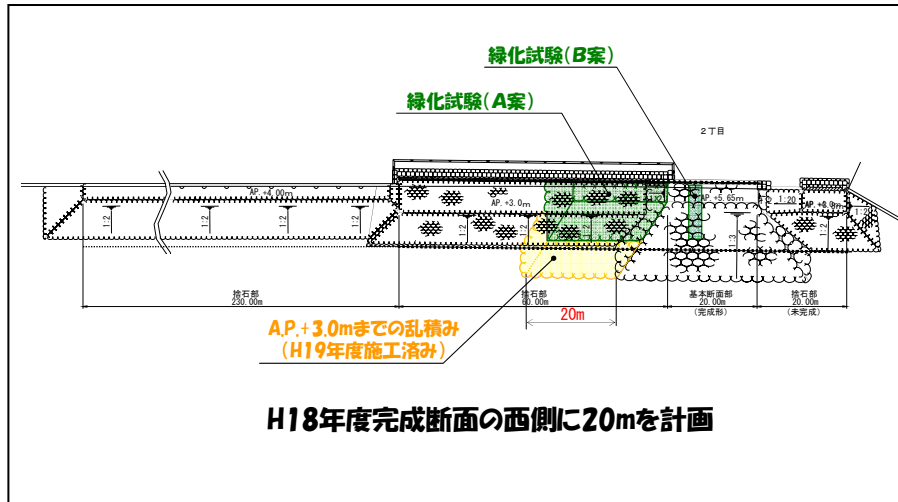


(4) 試験の計画

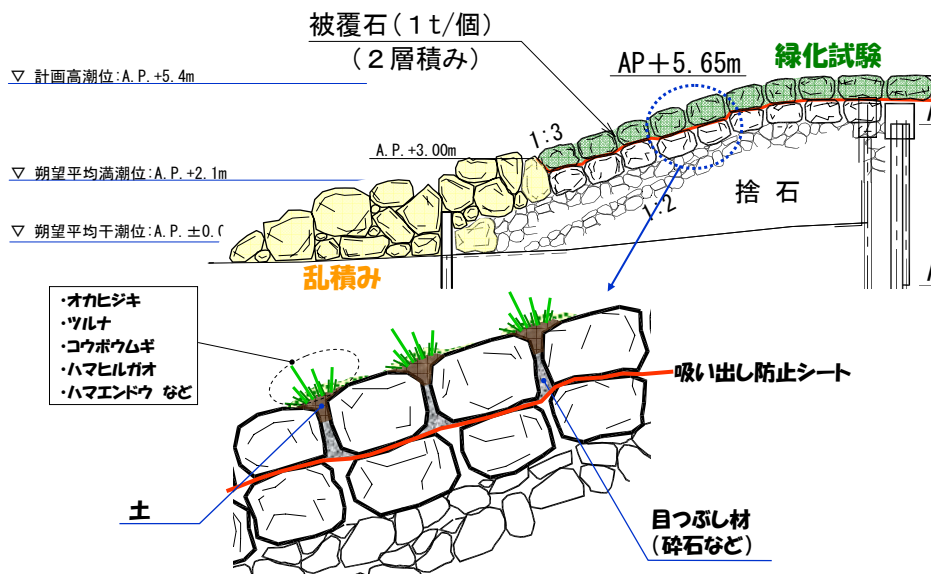
被覆石の緑化に係る試験案

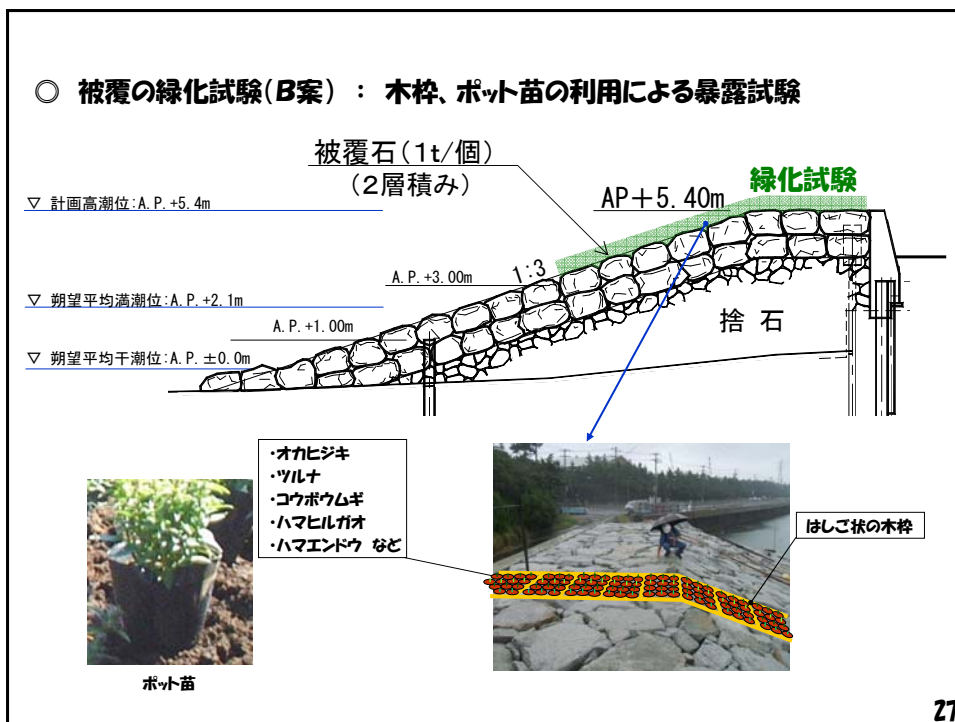
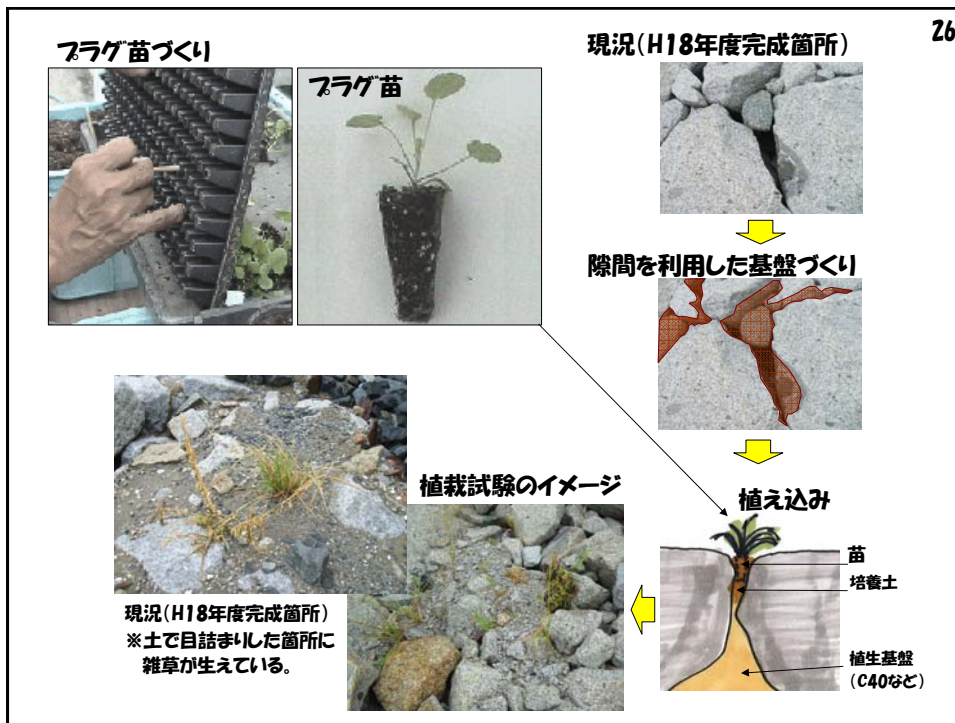
- ① 平成20年度事業の中で、緑化として使用する植物の種類を特定する。
- ② 1年間の暴露試験を通じて、乾燥や塩害に強い海浜植物の選定を行う。
- ③ 試験は、市民参加型の試験として実施できるよう試験方法を工夫する。
- ④ A案B案から選択し、詳細内容は今後検討する。

○ 計画平面図



○ 被覆の緑化試験(A案)：石の隙間の利用による暴露試験





平成20年度 千葉県三番瀬再生実施計画（案）

第5節 海と陸との連続性・護岸

事業名	事業内容	担当課
<p>1 市川市塩浜護岸改修事業</p> <p>海岸高潮対策事業 (千円)</p>	<p>老朽化が著しい2丁目地先の護岸については、早急に護岸の安全性を確保するとともに、海と陸との連続性を取り戻すことが必要です。</p> <p>そこで、生態系にも配慮した高潮防護の護岸改修を市川海岸塩浜地区護岸検討委員会で検討し、三番瀬再生会議・三番瀬評価委員会等の意見を踏まえながら進めます。</p> <p>1 施工位置 市川市塩浜2丁目 2 工事延長 L = m 3 事業内容</p> <p>1) 石積緩傾斜堤護岸工事 捨石部分 L = m 陸側H鋼杭 L = m</p> <p>2) モニタリング調査 平成18年度～20年度施工区間等を対象として、護岸工事による影響等を把握するため地形測量、底質、生物、波浪等のモニタリング調査を実施します。</p> <p>3) 緑化試験 護岸緑化のための植物種の選定試験を行います。</p> <p>4) 順応的管理 モニタリング調査及び三番瀬自然環境調査の結果等を基に、護岸構造を評価・検討し、より良い工夫を施していきます。</p>	<p>県土整備部 河川整備課</p>

- 参考資料
- (1) 位置図
 - (2) 平面図
 - (3) 工事の計画
 - (4) モニタリング調査計画
 - (5) 実施工程表
 - (6) 塩浜2丁目の護岸改修の流れ